



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム
コード番号 9445 URL <https://www.forvaltel.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3233-1301
(氏名) 行 辰哉
(氏名) 山本 忠幸

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,231	5.4	183	89.9	168	50.1	100	61.3
2023年3月期第1四半期	5,528	10.0	96	52.1	112	34.3	61	80.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 100百万円 (60.8%) 2023年3月期第1四半期 62百万円 (80.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	5.97	
2023年3月期第1四半期	3.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,407	2,392	22.8
2023年3月期	11,051	2,459	22.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 2,373百万円 2023年3月期 2,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		7.00		10.00	17.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		7.00		10.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,170	2.3	850	48.2	790	23.1	510	34.8	30.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	16,757,700 株	2023年3月期	16,757,700 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期1Q	505 株	2023年3月期	505 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	16,757,195 株	2023年3月期1Q	16,717,695 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだこともあり、経済活動に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、新型変異株による感染再拡大、資源・エネルギー価格の変動等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、移動系超高速ブロードバンド接続サービスの契約数が急拡大し、ビジネスにおける効果的な活用や急増したデータ量への対応・セキュリティ対策が課題となっております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、法人向けFMC (Fixed Mobile Convergence) サービス、個人向けインターネットサービス等「IP & Mobileソリューション・ビジネス」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人及びコンシューマ向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である(株)F I Sソリューションズにおいては、光回線サービス「iSmartひかり」、法人を対象とした光ファイバー対応IP電話「スマートひかり」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「どこでもホン」、並びに個人を対象としたISPサービス「iSmart接続-Fひかり」を中心に、合わせて情報通信機器等を提供しております。

また、当社では登録小売電気事業者として法人顧客に電力サービス「Elenova」を提供しており、本サービスを「ユーティリティ・ビジネス」と位置付けております。

当社連結子会社である(株)トライ・エックス及びタクトシステム(株)においては、法人顧客からのニーズが強い「ドキュメントソリューション・ビジネス」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社及び当社連結子会社である(株)保険ステーションにおいては、主に法人顧客に対し「コンサルティング・ビジネス」を提供しております。

なお、新型コロナウイルスの感染症拡大による経済活動の制限等が再度発生した場合は、「IP & Mobileソリューション・ビジネス」において情報通信機器の入荷、「ドキュメントソリューション・ビジネス」において各種セミナーやイベントに関する印刷物、「コンサルティング・ビジネス」においてはショッピングモール併設の保険店舗の集客等への影響が考えられます。

これらにより、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が52億31百万円（前年同四半期比5.4%減）となりました。これは主に、「ユーティリティ・ビジネス」の電力サービスにおいて燃料価格の低下に伴い売上単価が減じた事によるものでありますが、併せて同サービスの原価も縮小された事により、利益面では、営業利益が1億83百万円（前年同四半期比89.9%増）、経常利益が1億68百万円（前年同四半期比50.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億円（前年同四半期比61.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション・ビジネス》

「IP & Mobileソリューション・ビジネス」は、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しております。個人を対象としたサービスの利用件数と法人を対象とした情報通信機器等の販売の減少により、当第1四半期連結累計期間の売上高は27億46百万円（前年同四半期比5.7%減）、セグメント利益は3億12百万円（前年同四半期比7%減）となりました。

《ユーティリティ・ビジネス》

「ユーティリティ・ビジネス」は、電力を提供しております。燃料価格の低下に伴い売上単価が減じた事により、当第1四半期連結累計期間の売上高は14億24百万円（前年同四半期比8.5%減）となりましたが、併せて原価も縮小された事により、セグメント利益は87百万円（前年同四半期はセグメント損失1億1百万円）となりました。

《ドキュメントソリューション・ビジネス》

「ドキュメントソリューション・ビジネス」は、普通印刷、印刷物のプランニング・デザイン等を行っております。大口顧客並びに新規商材の販売計画の遅れにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は3億2百万円（前年同四半期比6.1%減）、セグメント損失は2百万円（前年同四半期はセグメント利益16百万円）となりました。

《コンサルティング・ビジネス》

「コンサルティング・ビジネス」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っております。保険サービス及びセキュリティサービスともに堅調な推移により、当第1四半期連結累計期間の売上高は7億58百万円（前年同四半期比3%増）、加えて保険サービスの経費の圧縮が計画通りに進んだ事により、セグメント利益は31百万円（前年同四半期比13.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は104億7百万円となり、前連結会計年度末比6億44百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の増加（65百万円）、受取手形、売掛金及び契約資産の減少（9億88百万円）、未収入金の減少（86百万円）及び投資その他の資産のその他の増加（3億80百万円）によるものであります。

負債の残高は80億15百万円となり、前連結会計年度末比5億76百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少（8億37百万円）、短期借入金の増加（5億86百万円）、未払金の減少（1億18百万円）及び未払法人税等の減少（94百万円）によるものであります。

非支配株主持分の残高は18百万円となりました。また、純資産の残高は23億92百万円となり、前連結会計年度末比67百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,040,243	1,105,783
受取手形、売掛金及び契約資産	4,213,104	3,224,672
商品及び製品	64,442	61,166
仕掛品	24,463	18,000
原材料及び貯蔵品	125,703	109,885
未収入金	1,789,195	1,702,433
前払費用	745,095	709,766
その他	124,060	141,193
貸倒引当金	△76,453	△83,141
流動資産合計	8,049,853	6,989,759
固定資産		
有形固定資産	106,835	100,105
無形固定資産		
のれん	262,958	252,012
その他	803,812	886,339
無形固定資産合計	1,066,770	1,138,352
投資その他の資産		
長期前払費用	653,035	621,733
破産更生債権等	2,210,572	2,211,482
その他	1,010,823	1,391,772
貸倒引当金	△2,046,068	△2,045,885
投資その他の資産合計	1,828,363	2,179,102
固定資産合計	3,001,969	3,417,560
資産合計	11,051,823	10,407,320
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,062,167	2,224,757
短期借入金	1,728,000	2,314,000
未払金	2,721,921	2,602,936
未払法人税等	142,010	47,815
賞与引当金	131,589	75,357
役員賞与引当金	53,083	19,798
その他	511,407	493,522
流動負債合計	8,350,181	7,778,187
固定負債		
退職給付に係る負債	214,818	210,037
その他	27,049	26,883
固定負債合計	241,867	236,921
負債合計	8,592,048	8,015,109

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,660	553,660
資本剰余金	53,660	53,660
利益剰余金	1,833,864	1,766,322
自己株式	△183	△183
株主資本合計	2,441,002	2,373,460
非支配株主持分	18,772	18,750
純資産合計	2,459,774	2,392,210
負債純資産合計	11,051,823	10,407,320

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,528,529	5,231,823
売上原価	4,246,543	3,854,678
売上総利益	1,281,986	1,377,144
販売費及び一般管理費	1,185,385	1,193,683
営業利益	96,600	183,461
営業外収益		
受取利息	0	0
貸倒引当金戻入額	6,724	—
違約金収入	11,370	—
利用料収入	582	2,985
その他	1,029	1,025
営業外収益合計	19,707	4,010
営業外費用		
支払利息	4,155	3,305
貸倒引当金繰入額	—	591
長期前払費用除却損	—	14,493
その他	91	858
営業外費用合計	4,247	19,249
経常利益	112,061	168,222
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	112,061	168,222
法人税、住民税及び事業税	8,405	41,438
法人税等調整額	41,459	26,776
法人税等合計	49,864	68,214
四半期純利益	62,196	100,008
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	199	△21
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,996	100,029

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	62,196	100,008
四半期包括利益	62,196	100,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,996	100,029
非支配株主に係る四半期包括利益	199	△21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティリティ・ ビジネス	ドキュメント ソリューション・ ビジネス	コンサルティング・ ビジネス	
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	2,912,850	1,556,972	321,738	736,968	5,528,529
外部顧客への売上高	2,912,850	1,556,972	321,738	736,968	5,528,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,448	—	24,109	799	38,358
計	2,926,298	1,556,972	345,848	737,767	5,566,887
セグメント利益又は 損失(△)	335,636	△101,300	16,393	27,212	277,942

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	277,942
セグメント間取引消去	43
全社費用(注)	△181,384
四半期連結損益計算書の営業利益	96,600

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	IP & Mobile ソリューション・ ビジネス	ユーティリティ・ ビジネス	ドキュメント ソリューション・ ビジネス	コンサルティング・ ビジネス	
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	2,746,239	1,424,564	302,186	758,832	5,231,823
外部顧客への売上高	2,746,239	1,424,564	302,186	758,832	5,231,823
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,308	—	25,538	65	31,912
計	2,752,548	1,424,564	327,724	758,897	5,263,735
セグメント利益又は 損失(△)	312,088	87,917	△2,657	31,006	428,355

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	428,355
セグメント間取引消去	384
全社費用(注)	△245,278
四半期連結損益計算書の営業利益	183,461

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門の一般管理費等であります。